

目的 密着服の原型は、個人被服のパターンの基本である。そこで本研究では、密着服原型をモデル化し、パソコンによって合理的に描けるようにプログラム化した。必要は体形寸法を入力することにより、密着服パターンを描き、求めた原型によって密着服を製作し、その適合度を調べ、原型のモデル化とプログラムの良否を判断することを目的とした。

方法 人体表面展開物（ボディシエルと呼ぶ）を採取し、これを基本として密着服原型をモデル化した。モデル化の基本は、ダーツの作製法と、袖ぐり・襟ぐり・袖山の矩形区分による数量化である。モデル化した密着服原型を、パソコンによって、分割プリントできるようにプログラミングを行なった。得られた原型により、密着服を製作し試着を行なった。

結果 体形寸法をパソコンに入力する事によって、再現のある原型の製図を行うことができた。その原型の曲線部分は、曲線のパラメータを変更することにより、原型の修正を容易に行うことができた。原型に基づく試作被服は、かなり良い適合度を示したため、プログラミングによって製図した原型が使用可能であることが判明した。